



平成26年度決算に反対討論

松原のりかず 無所属クラブを代表して

白山自治会連合会での接待問題は説明不足

「第113号議案 平成26年度岐阜市一般会計、特別会計歳入歳出決算認定ですが、第87号議案でも述べました。市民にとって早急な課題ではないと思われる新庁舎建設関連（説明会市民参加者は、1会場10人ほど）の決算が含まれています。一般廃棄物仮置き場用地買収関連の決算が含まれています。

駅西駐車場の平成26年度決算は、償還計画変更時の一般会計繰入額の23倍の3億7500万円余ですが、経費縮小の準備が出来ていません。

メディアコスモス関連決算が含まれています、不良工事の瑕疵担保期間4年間の改修工事計画が不明確のままです。

白山自治会連合会の会長が、自治会費の一部を細江茂光市長との飲食費にあて、辞任した問題の報道で市長は『飲食費を会長に負担してもらったこと』を認めています。白山自治会連合会平成26年度収支決算によれば、関連と思われる貸付金処理33万504円が計上されています。が、先の報道後の市長の説明が不十分です。 議案には、反対いたします。」

非核平和都市宣言を求める請願 採択もとめ討論

請願第6号 「非核平和都市宣言を行い、日本非核宣言自治体協議会への加盟を求める請願」の採択を主張しました。

「戦後70年の本年、国是たる非核三原則を堅持し、平和への取り組みを強化してほしいという、市民の願いは当然であります。『岐阜市は、国是たる非核三原則を守る意思を市民に明確に示すこと』の願いに、平和を願う議会は応えるべきです。 採択を主張します。」

長崎の平和祈念集会で安倍首相が「非核三原則の堅持」を話したが、請願賛成は無所属クラブと共産党に止まり驚きました。岐阜市での街頭の平和デモや反原発集会へ参加される議員で、「非核平和都市宣言請願」に賛成しない議員が議場におみえになります。不思議でなりません。

連絡先 岐阜市会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500



松原のりかず

☎058-253-2500

え、治安維持法は悪法ではない？！

岐阜市議会9月議会の総務委員会請願の討論の場面で、請願に対し採択反対討論をされた公明党議員が「治安維持法は悪法ではない」旨の討論をされた。松原のりかずは、採択を主張し、本会議で賛成討論を行ないました。

「請願第5号 治安維持法犠牲者の名誉回復実現の意見書採択を求める請願は総務委員会では不採択ですが、採択を主張します。治安維持法により弾圧された方々は、政治家、政治活動家だけでなく民主主義を願う人や社会活動家、学者さらには宗教者など、『戦争反対』と『人間として当然の意見』を願った広範な人々がその対象になられたと、聞いております。

戦争推進の大きな武器となったことは明白であり、『人道に反する悪法』であることは『歴史の事実』であるとの請願の主張は当然と考えます。総務委員会で『悪法ではない』旨の請願への反対討論がされたとお聞きし、平和を願う者として、大変驚き、また残念に思うところです。請願の採択を主張します。」

公明党議員の総務委員会での発言

請願に反対の立場で討論する。請願趣旨のとおり、犠牲になられた方々に対しては心からお見舞い申し上げる次第であるし、願意は妥当であると思う。しかしながら、1点、議人として、記書きの1「治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること」という点について、御承知のとおり、治安維持法は大正14年、1925年4月に成立し、第2次世界大戦直前に1941年に大幅改定されたものであり、1941年の大幅改定ではそれまでの全7条から全65条にふえ、それ以後、治安維持法が悪用されて多くの犠牲者を出したと認識している。しかしながら、大正14年当時は治安が非常に悪化していたという状況も理解できることから、治安維持法をひとくくりにして、悪法と認めることには賛同しがたく、本請願には賛成できない。